

別紙

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

中国木材株式会社 郷原工場

(2) 事業所の所在地

広島県呉市郷原町字一ノ松光山 1 0 6 2 6 - 2

(3) 業種

N o . 1 2 1 1 一般製材業

2 計画の期間

本計画の期間は平成 2 5 (2 0 1 3) 年度を基準年度とし、令和 3 (2 0 2 1) 年度から令和 7 (2 0 2 5) 年度までの 5 年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂），削減率（％）

温室効果ガスの種類	基準年度実 排出量(a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d), 下段：削減量の対基準年度比(e))					
	平成 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	
エネルギー 起源CO ₂								
非エネルギー 起源CO ₂								
メタン								
一酸化二窒素								
その他 温室効果ガス								
温室効果ガス 実排出量総計								
温室効果ガス みなし排出量								
実績に対する 自己評価								

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標

エネルギー起源CO₂ : 製品生産量（千m³）

メタン・一酸化二窒素 : バイオマスボイラー蒸発量（千トン）

単位：排出量(t-CO₂），原単位量（t-CO₂/千m³または千トン），削減率（％）

温室効果ガスの種類	基準年度の実績(a)	目標年度 上段：目標(b) 下段：削減率(c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
	平成25年度 (2013年度)	令和7年度 (2025年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
エネルギー 起源CO ₂	30.53	28.39 7.0%	3.06 90.0%	3.15 89.7%	2.56 91.6%	3.10 89.8%	
非エネルギー 起源CO ₂							
メタン	5.93	5.93 0.0%	8.68 -46.4%	8.47 -42.8%	0.02 99.7%	0.02 99.7	
一酸化二窒素	0.69	0.69 0.0%	0.81 -17.4%	0.79 -14.5%	0.61 11.6%	0.49 29.0%	
その他 温室効果ガス							
温室効果ガス 総排出量							
エネルギー消費 原単位(原油換算kl)	10.53	10.21 3%	6.611 37.2%	5.733 45.6%	1.564 85.1%	1.262 88.0%	

実績に対する 自己評価		・改正省エネ法により前回報告分より非化石燃料もエネルギー使用量へと加算されるようになったが、それ以前の報告値はエネルギー消費原単位および対前年度比は改正前の数値を用いての報告をおこなっており基準年度との比較（評価）が出来なくなってしまうため、非化石エネルギー使用量を除いた数値を用いて評価した。 ・エネルギー消費原単位は2023年2月より営業運転を開始した出力9,990kWの大型木質バイオマス自家発電設備が順調に一年を通して稼動したため基準年度と比べ88.0%も削減できた。 ・エネルギー起源CO₂に関しては2016年8月より電力購入先を排出係数の非常に少ない（株）フォレストパワーへ切り替えたため大幅に削減できている。 ・メタン・一酸化二窒素は木材専焼バイオマスボイラーの排出係数を選択する設備分類が今回の報告分から、従来選択していた分類よりも適切な分類が新たに追加されたため環境省確認のもと分類を変更した結果、排出量が低減した。
----------------	--	---

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	電力原単位の削減	基準年度比93.5%削減	・バイオマス発電設備の新設・更新 ・電力購入先を排出係数の少ない企業へ切り替え ・高性能インバーター機器への更新 ・高効率照明器具への更新 ・無駄な電力消費の削減
2	化石燃料原単位の削減	基準年度比49.8%削減	・バイオマス発電設備の発電量向上によるディーゼル発電稼働率の低下
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	FIT認定太陽光発電設備による温室効果ガス削減 (グループ会社含む 全社取組み)	温室効果ガス 年間約5,000t-CO ₂ 削減 (グループ会社含む全社合計)	全社モジュール出力合計 11,249kW 2024年度 温室効果ガス削減効果 4,794 t-CO ₂
2	FIT認定木質バイオマス発電設備による温室効果ガス削減 (グループ会社含む 全社取組み)	温室効果ガス 年間約170,000t-CO ₂ /年削減 (グループ会社含む全社合計)	・2024年4月 能代工場(秋田県能代市)にて出力2,090kWの高効率バイオマス専焼 構内熱電供給プラントが完成定 ・2025年6月 鹿島工場(茨城県神栖市)にてグループ会社による出力9,990kWの高効率FITバイオマス専焼発電プラントが完成(既存の21,00kW発電設備は2023年7月末で廃止) ・2026年9月 能代工場(秋田県能代市)にてグループ会社による出力9,990kWの高効率FITバイオマス専焼発電プラントが完成予定 全社出力計:83,360kW 《計画中の全設備完成後は 93,350 kWとなる》 2024年度 温室効果ガス削減効果 203,506 t-CO₂

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記入してください。